

## 令和元年度3学期の始まりです。

校長 市川 裕二

冬季休業中は、児童・生徒並びに教職員が、大きな事故等もなく、3学期を迎えることができました。特に、児童・生徒の皆さんについては、始業式の時に、全員で元気よく「明けましておめでとうございます。」と新年の挨拶ができ、晴れやかな新年を迎えることができました。

さて、3学期は、今年度の学習をまとめる時期です。

始業式の時にも話をしましたが、3学期は大きな行事があります。それは、修了式、卒業式です。修了式は、「終業式」ではなく、「修了式」であるとおり、その学年の学習をすべて修め、次の学年の学習を進むという節目の儀式です。卒業式は、その学部の学習を終え、次の学部へ進むという節目の儀式です。特に、高等部3年生の卒業式は、学校生活を終え、社会に向かうとても大切な儀式となります。学校としては、この大きな節目を迎えるにあたり、教職員一同団結して今年度のまとめを行いたいと思います。ご支援とご協力をお願いいたします。

また、学校は、来年度に向けた準備を進めていきます。来年度の教育内容の方向性等については、3月の全校保護者会でご説明いたします。

最後に、「今年もよろしく願いいたします。今年が良い年であるように祈ります」

## 授業参観のアンケートについて

副校長 渡辺 裕介

3学期が始まり、児童・生徒の皆さんが元気な顔を見せてくれました。本年もどうぞよろしく願いいたします。

12月13日（金）、14日（土）の授業参観には多くの保護者等の皆様にご参観いただきありがとうございました。また、アンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

アンケートには、本校の取り組みについて良い評価を多くいただきました。本校の教育は保護者の皆様のご理解とご協力あってのものです。いつもありがとうございます。

また、アンケートの中には厳しいご指摘もいただきました。できることから改善を図り、更なる教育内容の充実に取り組んで参ります。

今回のアンケートには12月ということもあってか、B部門小学部を中心に、校内の温度設定についてご意見を多くいただきました。本校については、開校から20年が経過し、空調等に一部不具合もございます。東京都教育委員会と相談し対応をして参ります。また、教室、体育館、廊下、グラウンドの気温差についてもご意見をいただきました。児童・生徒の衣服の調整など、体調管理を今後も丁寧に行って参ります。

授業参観日は設定しておりますが、学校はいつでも見学できますので、お時間がありましたらまた授業を見に来ていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

## 全校ふくのおプロジェクト プロジェクト ~2019年も ふくのお P J ! ~

昨年度は、協賛しているフジサンケイグループからの取材を受けたこの事業、ふくのおプロジェクトは、11月のふれあい月間の「AB高等部、あいさつ運動」期間に合わせて実施しました。集まった服の重さは、なんと…

**「152キログラム!!!」**

本校に関わる、児童・生徒・保護者の皆さんと教職員のボランティアマインド（思いやりの気持ち）が、この大量の服と共に集められました。この「想い」はパラリンピックの協賛金となったり、途上国に送られたりします。



これからも、  
思いやりの  
気持ちを  
大切に！

## 夢★未来プロジェクト 「YOKOSOプログラム」

東京都オリンピック・パラリンピック教育推進事業の一つ「夢★未来プロジェクト」を開催しました。講師は、北京オリンピックに出場したバドミントン選手廣瀬栄理子さんです。全体会講演では、小学生の頃から強くなるために、自分でできるトレーニングを考えて実践したことや、オリンピックの切符目前に大怪我をした時の気持ち、そこから努力したことを伺いました。教員との実技披露では、体育館の天井まで届きそうなショットや、見事なスマッシュに会場が一体となり大きな歓声、拍手が湧き上がりました。その後、A部門とB中学部が実技指導を受けました。選手の魔法の言葉と手添えの練習でみるみる打つことができ、体験した児童・生徒の顔がキラキラと輝いていました。最後にB高等部3年生との給食交流を行いました。

児童・生徒は、廣瀬選手のアスリートとしての格好良さに憧れを抱くとともに、芯が強くて、心優しい人柄に触れることができました。明日を開く児童・生徒が、夢をもつ大切さを学んだ一日でした。

## B中高オリパラ文化事業

昨年12月12日（木）、本校にインドネシアから著名なガムラン奏者とガムラン舞踏家らが来校し、B部門の中高生が、本物のインドネシア音楽を体験しました。これは、日本インドネシア・バリ文化協会の力をお借りし、オリパラ文化事業のもと、国際文化交流を狙いとしたものでした。中学部、高等部とはほぼ同じプログラムで、初めに数人の日本人奏者を交えて、ガムラン演奏を聴き、続いて舞踏家が加わりお面をかぶった舞踊を2曲鑑賞しました。ガムラン奏者の目にも止まらぬ素晴らしい太鼓演奏と、お面がまるで生きているような魂のこもった踊りに、生徒たちも引き込まれ、大興奮で大盛り上がりとなりました。次に、アングロンという竹の民族楽器を全員が一人一つ持ち、あつという間にベートーヴェンの喜びの歌の旋律を大合奏。心地よい竹の音色に酔いしれました。最後に、全員で舞踊体験。知らず知らずのうちに、踊りのワヤンさんに引き込まれ、みんなでインドネシア文化を体全体で体感し、すばらしいひと時を過ごすことができました。

## A B高 米国大使館交流

### ~ Go for Gold ! ~

#### 「ゴーフォーゴールドキャンペーン」

「Go for Gold」とは、米国大使館が東京オリンピックに向け、「世界ともだちプロジェクト」の一環として行っているキャンペーンです！本校では、A部門B部門の高等部生徒と米国の外交官とが交流し、米国文化についての知識を深めました。

また、A高は「手話ダンス」を、B高は「ダイナミックエイサー」を披露しました。エイサー体験では、米国外交官やA高の皆さんも沖縄の民族衣装をまとい、みんなで民族舞踊を楽しみました。最後には作業学習のお土産を



G☆for GOLD

たくさんプレゼント！！  
頑張って英語で質問をする生徒も多く、めったに経験できない、国際色豊かな会となりました！